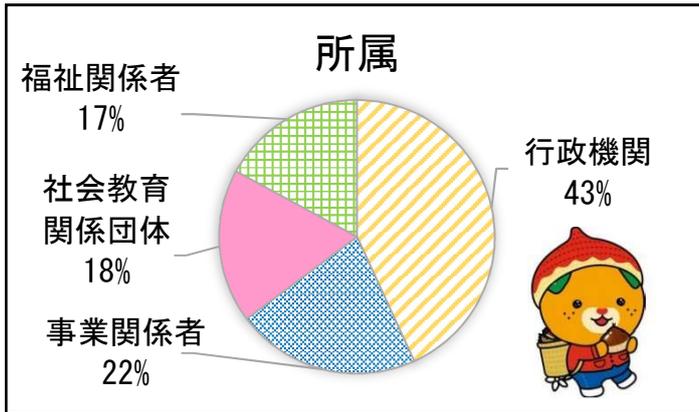


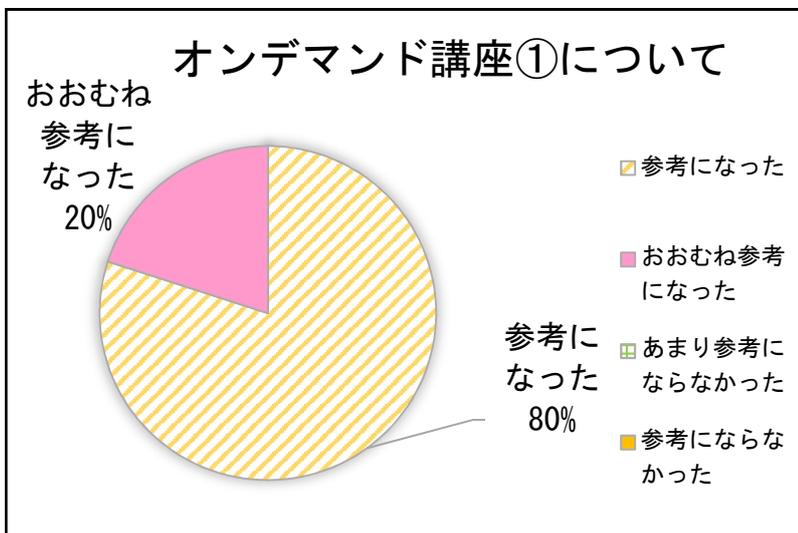
令和6年度家庭教育支援者養成講座アンケート結果

○ 参加者について（回答者 94 名）



第2回の講座の様子

○ オンデマンド講座①（講師：中尾 茂樹氏）



令和6年度 地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業 主催：愛媛県教育委員会

家庭教育支援者養成講座

トークでわーくわく♪ **全2回講座** (受講無料)

話し合いから始まる**家庭教育支援**

家庭教育支援や子育てについて学んでみませんか？
関心のある方は、どなたでも参加できます。
(下記 URL 又は右の二次元コードからお申し込みください。)

申込はこちら！
QRコード

締切:9/2(月) URL: <https://logoform.jp/ff/6v8Qm>

第1回:これからの家庭教育支援 (オンデマンド配信)

テーマ	講師
1人の子どもを育てるには、街中の人たちの協力が必要です!	愛媛大学大学院教育学研究科 特定教授 中尾 茂樹 氏
“保護者・子ども・地域が豊かになる”家庭教育支援とは	九州女子短期大学 教授 宮嶋 晴子 氏

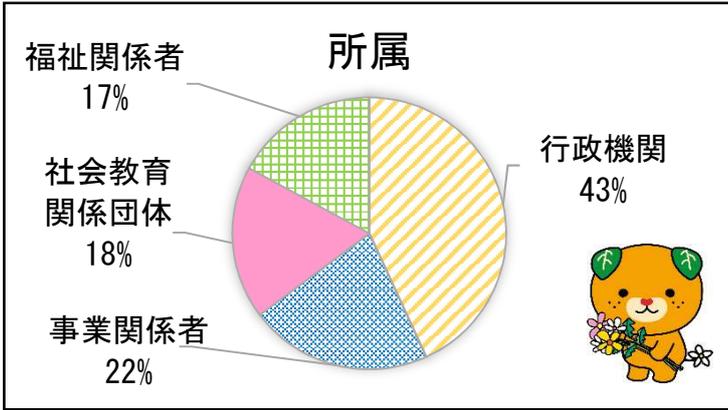
○ 申込みをされた方には、後日オンデマンド配信のアカウントを送付します。いつでも、どこでも、お好きなタイミングで受講できます♪

【参加者の感想】

- 常に大人目線で子どもたちと会話していたことに気付かされました。それは、大人が相手でも、自分の価値観や考え方が根本となって接していたのかもしれない。最後の姉妹の動画で、姉が妹の言葉を否定せず、かつ生かした返答をした素直な子どもの心に感動しました。相手の言葉を否定せず、一旦受け止めて会話することから挑戦してみたいと思いました。そして家族だけでなく、職場や地域など、自分がいるコミュニティの中で、積極的に人と関わっていきたく感じました。
- 間違えることは悪いことではなく、一緒に考えたり学んだり、お互いを知ったりするために大切なきっかけであることが分かり、新たな気づきであったし、安心して子育てや支援活動に関われるなと感じました。
- 子どもに寄り添うことは、導くのではなく、一緒に入り込む、ということがとても心に響きました。支援をする際についていってしまうがちなことなので、童心に戻って一緒に感動できるよう、保護者に伝えていきたいです。
- さつきとめいのお父さんの応え方について改めて考えると、素敵ない言い回しだなと感じました。そのような言い回しが自然にできる大人たちに囲まれて育つ子どもたちは、たくさんの感情を持てるようになるのではないかと思います。その言葉や感情をたくさん持てる大人のコミュニティをつくり支えていくために、行政ができることを積極的に考え、自分自身もそのような大人の一員になりたいと思います。

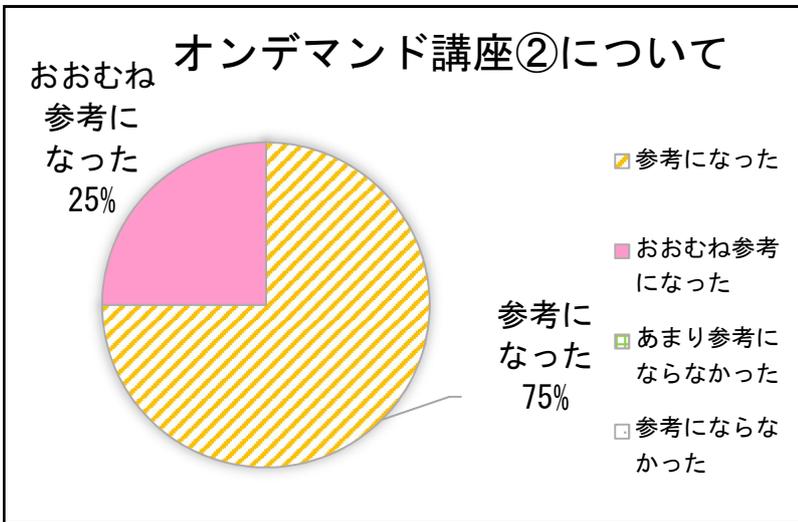
令和6年度家庭教育支援者養成講座アンケート結果

○ 参加者について（回答者 94 名）



第2回の講座の様子

○ オンデマンド講座②（講師：宮嶋 晴子氏）



令和6年度 地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業 主催：愛媛県教育委員会

家庭教育支援者養成講座

トークでわーくわく♪ 全2回講座 (受講無料)

話し合いから始まる家庭教育支援

家庭教育支援や子育て支援について学んでみませんか？
 関心のある方は、どなたでも参加できます。
 (下記 URL 又は QRコードからお申し込みください。)

締切:9/2(月) URL: <https://logoform.jp/f/6v8Qm>

第1回:これからの家庭教育支援 (オンデマンド配信)

テーマ	講師
1人の子育てするには、街中の人たちの協力が必要です!	愛媛大学大学院教育学研究科 特定教授 中尾 茂樹 氏
“保護者・子ども・地域が豊かになる”家庭教育支援とは	九州女子短期大学 教授 宮嶋 晴子 氏

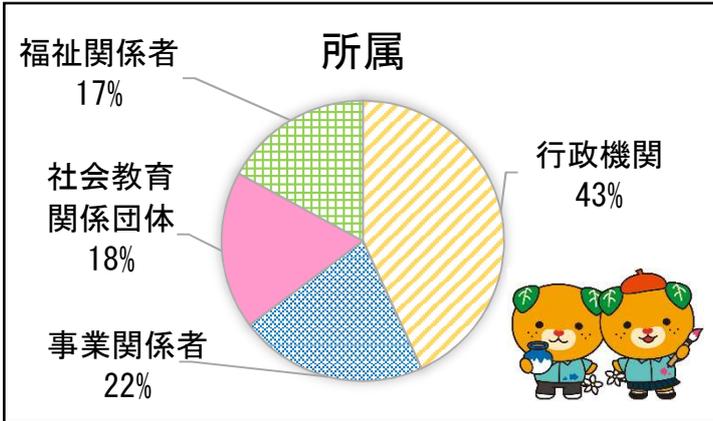
○ 申込みをされた方には、後日オンデマンド配信のアカウントを送付します。
 自宅等で各自講座を視聴してください。いつでも、どこでも、お好きなタイミングで受講できます♪

【参加者の感想】

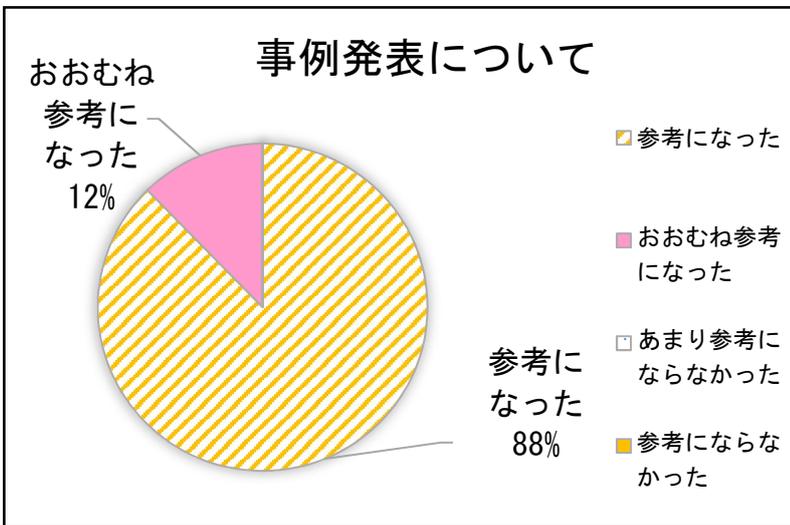
- 支援されていた立場から支援する役割に変わっていく保護者の心境の変化が、段階的によく分かりました。はじめの一步を踏み出して、語り合う場所を見つけることは、子育て世代は特に大切だと感じた。人とのつながりの中で学ぶことは多いと思います。
- 自身の子育てや、自分が支援する立場になるまでのプロセスを改めて振り返る時間になりました。ステップを視覚化し、説明してもらうことで、今後の活動やアプローチのヒントをいただくことができたように感じます。
- 子育てには正解がなく、成長過程においてずっと悩み続けるものです。理想の子育てではなく、リアルな子育てについて、頑張っている保護者への自信の回復につながる支援を大切に考えたいと思いました。
- 家から一步を踏み出すことから始まり、やがては「はじめの一步」を支える担い手になるという循環がなされていて素晴らしいと思いました。イベントを計画する際に、歓迎の声掛けや居心地の良い空間づくりを意識したいです。人と語り合うことで悩みの回路が外に拓き、気づきが生まれ学びが始まるという話が印象に残りました。やはり人と知り合い語り合う時間は必要だなと感じます。
- 様々なコミュニティで初めて関わる時は、とても緊張します。緊張するくらいならやめておこうかとも思います。しかし、その勇気ある一步が思いもよらない素晴らしい人との出会いにつながるかもしれません。希望を持って一步踏み出したいなと思える講演でした。

令和6年度家庭教育支援者養成講座アンケート結果

○ 参加者について (回答者 94 名)



○ 事例発表 (橋本市家庭教育支援チーム「ヘスティア」)



令和6年度 地域ぐるみで育むおひめっ子未来創造事業 主催：愛媛県教育委員会

家庭教育支援者養成講座

トークでわーくわく♪ 全2回講座 (受講無料)

話し合いから始まる家庭教育支援

申し込みはこちら↓

家庭教育支援や子育て支援について学んでみませんか？
関心のある方は、どなたでも参加できます。
(下記 URL 又は右の二次元コードからお申し込みください。)

締切:9/2(月) URL: <https://logofom.jp/f/6v8Qm>

第1回:これからの家庭教育支援 (オンデマンド配信)

テーマ	講師
1人の子どもを育てるには、街中の人たちの協力が必要です!	愛媛大学大学院教育学研究科 特定教授 中尾 茂樹 氏
“保護者・子ども・地域が豊かになる”家庭教育支援とは	九州女子短期大学 教授 宮崎 晴子 氏

○ 申込みされた方には、後日オンデマンド配信のアカウントを送付します。自宅等で各自視聴を視聴してください。

いつでも、どこでも、お好きなタイミングで受講できます。

第2回:話し合いから始まる家庭教育支援 (対面開催)

日時・場所 受付:12:30~13:00

日時	地区	場所	定員
9月19日(木) 13:00~16:00	南予 (宇和島市)	愛媛県南予地方局 7階 第1会議室	40名
9月25日(水) 13:00~16:00	中予 (松山市)	エスポワール愛媛文教会館 4階 専の間	50名
9月26日(木) 13:00~16:00	東予 (西条市)	西条中央公民館 多目的ホール	40名

○ 上記の3日間のうち、いずれか1日を受講してください。

内容

みなさんと一緒に話し合い、つながりましょう。

○行政説明

○事例発表 **かがやく笑顔をもとめて~16年間の歩み~**
発表者 和歌山県橋本市家庭教育支援チーム「ヘスティア」
代表 森田 知世子 氏
前語り合い班長 上田 ひと美 氏
家庭訪問部長 松本 祐代 氏

○「トクわく」プログラム演習

「トクわく」を使ったワークショップを進行するために必要なスキルが学べます。

本講座を終了された方には、
①「笑顔の子育てトークわく」応援プログラム集 (連絡:トクわく)冊子
②「トクわく」クリアファイル
③修了証 をプレゼント!!

お問い合わせ 愛媛県教育委員会事務局管理部社会教育課社会教育グループ
TEL:089-912-2933 E-mail:takahashi-kazunori@pref.ehime.lg.jp

【参加者の感想】

- 子育て支援や「乳児期～学童期」の在り方、目指すべき方向性を示していただき、すごくありがたかったです。
- できたら良いなと思っていたことを実際に活動されていてすごいなと思いました。やればできるなと感じました。
- つながりを待つのではなく積極的に行動されていると思いました。バイタリティーと安心、心強さ、愛を感じました。ゆりかごから思春期までのサポート！素晴らしいです。楽しく周囲を巻き込まないといけませんね。主催者が笑顔で楽しく取り組まれているのが何より素敵です。
- ヘスティアのメンバー数がとても多く、3つの部門に分けられ各自が得意の分野を担当するというとても良い取組みだと思いました。就学前のワークショップやブックスタートやセカンドブックでは、人が集まる場所へ行っての活動も参考になりました。
- 家庭教育支援チームについて、連携した取組みができないか考えていたこともあり、とても参考になりました。
- とても積極的な活動をうらやましく思うと同時に、当市でも、家庭教育支援チームをスタートできないかと考えるいい機会となりました。生涯学習課の方の声掛けから始まったと聞いたので、私もどんな形でも始められたらと思います。
- 事例、手作りワークショップなど、今後の参考になりました。

令和6年度家庭教育支援者養成講座（第2回）の様子

